**学習指導案（２０分版）　公民② 北方領土問題の平和的な解決**

|  |  |
| --- | --- |
| 授業日時 | 令和○年　○月　○日（○曜日）　第○時 |
| 対象学年/クラス/生徒の人数 | 第○学年○組（計○名） |
| 指導者名 | ○○○○ |

|  |  |
| --- | --- |
| 本時のねらい | ソ連の北方領土への侵攻により日本の主権が脅かされ、日本人島民が強制退去させられたことについて触れる中で、平和の重要性を踏まえ、北方領土問題は話し合いにより解決すべきものであることを理解させる。 |
| 指導観 | 北方領土問題に興味・関心をもって取り組めるよう、画像やデジタルデータを提示していく。ペアワークを通して、現代社会の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な学習となるように留意する。また、生徒同士の協働的な学びを設けることにより、自己の考えや知識を深められるようにする。  導入段階では、北方領土の基本的な知識に触れ、ロシアにより今日もなお不法占拠され、日本の主権が脅かされていることを理解させる。  展開では、日本人島民が体験したソ連の侵攻、強制退去について触れる中で、平和が重要であることを認識させ、その上で北方領土問題は話し合いにより解決すべきものであることを理解させる。  まとめでは、学習を振り返り本時の学びを深める。 |
| 生徒観 | 本時の内容に対して、以下の観点について、生徒の実態を具体的に記述する。  ・学習に必要な習熟度  本時の学習を行うに当たり必要とする知識に対する習熟度  ・学習経験  本時に関連してこれまで取り扱った内容（北方領土問題についての学習経験等）及び取り扱った際の興味・関心の度合い  ・その他、本時の展開に当たり必要な事項  ICTの利用経験  グループワーク等の経験、または意欲や姿勢 |
| 教材観 | 教材は、学校教育現場における北方領土についての学習などの充実を目的として、ICTを活用し、画像やデジタルデータを用いて、生徒が興味・関心、実感をもって、主体的・対話的で深い学びの学習活動となるよう作成している。  本時は、中学校学習指導要領「公民的分野」の「2内容」の「D私たちと国際社会の諸課題」の「（1）世界平和と人類の福祉の増大」に基づいて設定・開発したものである。  本教材は、ロシアの不法占拠により日本の主権が脅かされていることを把握し、日本人島民が体験したソ連の侵攻、強制退去について触れる中で、平和の重要性の観点から、北方領土問題は話し合いにより解決すべきものであることを理解させるために適した教材である。 |

本時の指導・授業の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点  （■学習改善につなげる評価） | 使用教材  ICT活用  使用アプリ・ツール例 |
| 1. 導入   <5分> | * 日本の主権が脅かされていることを把握する * 本時の問い（日本は、平和の重要性の観点から北方領土問題をめぐって、現在どのような解決への取組みを行っているか）をつかむ | * 授業実施用教材　公民②（以下スライド）を右記に記載のアプリ等で画面に映しながら、「北方領土はどこにある？」「北方領土の人口は？」「どんな人たちが暮らしている？」と問いかけ、答えさせながら北方領土の現状について全体で確認していく。 * 北方領土の場所は、ワークシートの白地図に丸で囲み確認する。 * 日本はロシアより先に北方四島の存在を知り、17世紀初頭から徐々に統治を確立し、日本人によって開拓され、日本人が住み続けた島々である。 * 1945（昭和20）年 8月の第二次世界大戦終了直後、ソ連は北方四島を占領し、日本人島民を強制退去させ、今日もなおロシアに不法占拠されている。   【本時の問い】  日本は、平和の重要性の観点から北方領土問題をめぐって、現在どのような解決への取組みを行っているか。 | 授業実施用教材 公民②（以下スライド）P1～P5    ワークシートW1    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| 1. 展開   <12分> | **『北方領土に暮らす人々』**   * かつて暮らしていた人々と現在暮らしている人々 | * かつて北方領土に暮らしていた人々と現在暮らしている人々の写真を提示し、昔と今では暮らしている人々が違うことに気づかせる。 | スライドP6～P7    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| **『日本人島民の体験』**   * ソ連の占領、強制退去   **ペアワーク** | * 第二次世界大戦終了直後、ソ連は北方四島を占領し、日本人島民を強制退去させたことなどについて、隣の席同士ペアで日本人島民の歴史の証言を学び、どう感じたかをまとめ発表させる。 * 日本人島民の悲惨な体験を通じて平和の重要性を認識させる。   （参考）歴史の証言「元島民が語る北方領土」  （北方領土問題対策協会WEBサイト）  <https://www.hoppou.go.jp/problem-info/know/tesimony-of-history.html>   * 知識・技能：日本人島民の体験について、情報を収集し、適切に読み取っている。 | スライドP8～P9    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| **『北方領土問題の解決方法』**   * 日本政府の北方領土問題解決のための基本的な考え方 | * 日本政府の北方領土問題解決のための基本的な考え方を理解させる。 * 日本政府は、北方四島の帰属の問題を解決してロシアとの平和条約を締結するとの基本方針に基づいて、ロシア政府との間で粘り強く交渉を継続している。また、北方領土の日本への帰属が確認されることを条件として、実際の返還の時期、態様については柔軟に対応する考えであり、北方領土に現在居住しているロシア人住民の人権、利益及び希望は、北方領土返還後も十分に尊重していくこととしている。 | スライドP10～P11  ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| 1. まとめ   <3分> | * 本時の学習を振り返る | * 全体で本時の学習を振り返る。 * 知識・技能：問いに対し、日本人島民の悲惨な体験などを通じ北方領土問題を理解し、平和の重要性を捉え、解決のための日本政府の考え方をまとめている。 | スライドP12～P13    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |